

「SDGs」推進に向けて

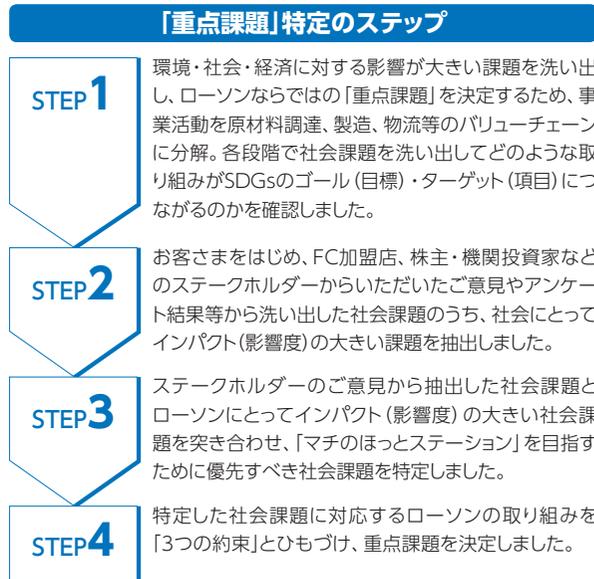
～ローソンの重点課題を特定し、未来のあるべき姿に向けて持続可能な取り組みを推進～

ローソンは私たちの企業理念「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」のもと、「マチのほっとステーション」を目指してお客さま起点で事業活動を推進しています。「3つの約束」を実現するためのチャレンジこそ「SDGs（持続可能な開発目標）」推進につながると考え、課題に積極的に取り組んでいます。

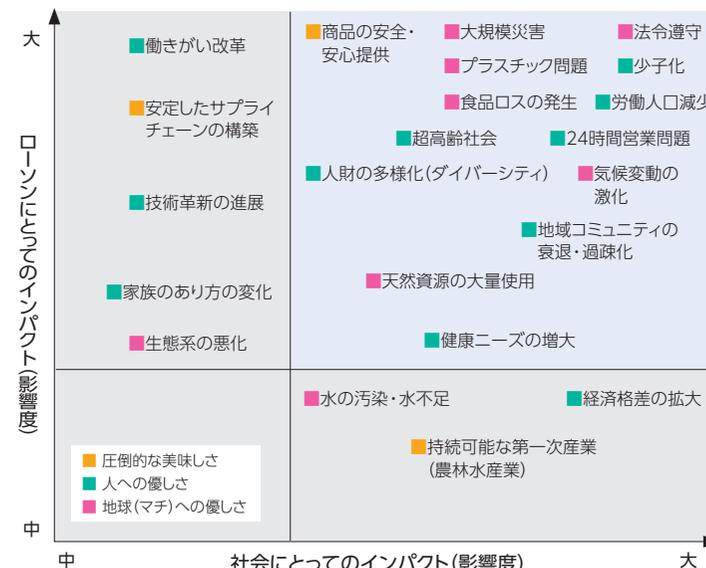
「SDGs委員会」で課題の解決と進捗を共有

ローソンの事業活動を通じて持続可能な社会の実現を目指すべく、2019年3月から「SDGs委員会」を立ち上げ、事業活動において社会課題の解決につながる取り組みを一つひとつ進めています。各部門がそれぞれの事業活動において自主的に「3つの約束」を実現するなかで「SDGs」に連動した取り組みを推進するとともに、「SDGs委員会」で定期的に課題の解決と進捗の共有を図っていきます。SDGs委員会が中心となってステップを踏みながら社会課題の解決により社会的責任を果たすとともに、企業の価値向上と持続的成長への挑戦を推し進めています。

●重点課題の特定



●マトリクス — 抽出した社会課題のインパクトの整理 —



Message

SDGs委員会を核に、全社を挙げて持続可能な社会の実現と持続的成長への挑戦を進めてまいります



ローソンは創業以来、社会課題からマチに暮らすお客さまのニーズを特定し、お客さまに豊かな生活を提供することに努めてきました。それは令和という新しい時代になっても変わりません。しかし、社会やお客さまの消費行動の変化のスピードはますます速くなっています。また、コンビニエンスストアが社会的なインフラと認められるようになったことによって社会に与える影響が大きくなり、それに応じて対応を求められる社会課題は飛躍的に増大しています。ローソンが社会の一員として事業活動を推進するに当たっては、お客さま、FC加盟店などのステークホルダーから未来を見て先んじて一歩踏み出すことが求められていると切実に感じています。

ローソンの企業理念「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」は、マチに暮ら

す人々が幸せであることを目指しており、それはSDGsのキーワード“地球上の誰一人として取り残さない”につながります。今年度新たに宣言した新・企業スローガン「マチのほっとステーション」を目指すため、ローソンに関わる全員がそれぞれの業務で「3つの約束」実現に向けて一つひとつの課題に真摯に取り組むことがSDGs推進の一助になると考えています。

ローソンとして常に新しい社会課題に向き合い、迅速かつ適切な対応を進めるため、今年度SDGs委員会を立ち上げました。今後はSDGs委員会を核に、全社を挙げて事業を通じ、持続可能な社会の実現と持続的成長への挑戦を進めてまいります。

●SDGs委員会組織体制



常務執行役員 CR管掌 兼 人事管掌
SDGs委員会 委員長 今川 秀一



あるべき姿2050

さらなる挑戦!! Lawson Blue Challenge 2050!

～“青い地球”を維持するために!～

我々は、脱炭素社会の形成及びSDGs
が目指す姿に貢献すべく、さらに高い
目標にチャレンジします!

●食品ロス削減
100%削減

●プラスチック削減(容器包装)
オリジナル商品
環境配慮型素材
100%使用

●CO₂排出量削減
1店舗当たりのCO₂排出量
100%削減

2050年の“あるべき姿”に目線を置き、現在を振り返り、今何をすべきかを検討・議論し、ローソンにおけるSDGs(2030年)の重点課題・目標(KPI)を確実に推進します。

2030 目標(KPI)

社会課題・情勢等に鑑み、社会環境面に関わる目標(KPI)を設定

●食品ロス削減
2018年対比
50%削減

●プラスチック削減
容器包装プラスチック
2017年対比
30%削減

(オリジナル商品
環境配慮型素材)
50%使用
プラスチック製レジ袋
100%削減

●CO₂排出量削減
1店舗当たりのCO₂排出量
2013年対比
30%削減

ローソンにおける重点課題

- ・事業方針の「3つの約束」をもとに、当社のバリューチェーンにおける取り組みについて、社会課題・情勢などに鑑み、6つに分類。
- ・小売業にとって最も重要な安全・安心、社会インフラとしての取り組みを強調し、お客さま起点で決定。

事業方針	対応するSDGs目標	重点課題(マテリアリティ)	主な取り組み・サービス
圧倒的な美味しさ ほっと発見	2 気候変動, 9 産業とインフラ, 12 消費の持続可能性	安全・安心と社会・環境に配慮した圧倒的な高付加価値商品・サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ●高付加価値のPB(米飯・冷凍食品・ファストフード)提供 ●まちかど厨房の展開 ●地産地消商品の企画・開発、国産食材の積極的な活用 ●社会・環境に配慮した商品の開発・販売(マチカフェ、NLブランド等) ●ローソンファームの展開(中嶋農法、GAP認証) ●製造・物流を含め、安定したサプライチェーンの構築・運用 ●お取引先との公正な取引の実施(取引方針の制定)
人への優しさ ほっとうれしい	2 気候変動, 3 健全な生活, 8 働きがいと経済成長, 9 産業とインフラ	商品や店舗を通じてすべての人の健康増進を支援 働きやすく、働きがいのある環境の提供	<ul style="list-style-type: none"> ●減塩、添加物を削減した商品の開発 ●わかりやすい栄養成分表示への変更 ●保存料・合成着色料の不使用 ●健康に配慮した商品・医薬品の販売 ●ナチュラルローソン、ヘルスケアローソンの拡大 ●自治体との健康づくり協定締結 ●オーナー・クルーの健康取り組みへの支援・補助 ●健康経営の推進(社員の健康チャレンジ促進) ●働きやすい店舗設備の導入推進(イノベーションによる業務省力化) ●ファンタジスタ資格制度の拡大(店舗クルーの育成、定着促進) ●店舗スタッフの派遣、外国人クルーの育成(ローソンスタッフ社) ●多店舗経営のマネジメントオーナー(MO)制度の推進 ●FC加盟店とのコミュニケーション強化(加盟店アドバイザー委員会の新設、「オーナーほっとライン」の設置) ●働きがい改革の推進(ワークライフバランスの充実) ●ハッピーローソン保育園(東京)の運営 ●産休・育休・看護・介護休暇の整備と利用拡大
地球(マチ)への優しさ ほっとやさしい	1 貧困, 4 働きがいと経済成長, 5 性別平等, 7 気候変動, 8 働きがいと経済成長, 11 住み続けられるまちづくり, 13 気候変動, 17 パートnership for the Goals	子どもの成長と女性・高齢者の活躍への支援 社会インフラの提供による地域社会との共生 脱炭素社会への持続可能な環境保全活動	<ul style="list-style-type: none"> ●ひとり親家庭支援奨学金制度の継続 ●子どもの学習を支援する募金の推進(学校緑化、夢の教室) ●体験型学習施設「スチューデントシティ」(京都、仙台)支援の推進 ●小・中学生の職場体験の受入と出前授業の実施 ●ケアローソンの展開(介護支援) ●セーフティステーション(SS)活動の推進(女性や子ども、高齢者の見守り) ●移動販売、お届けサービス、ローソンフレッシュピック(ロピック) ●ローソン銀行ATMサービス ●行政証明書の発行サービス ●自治体との包括協定の締結 ●事業継続計画(BCP)の策定 ●国・自治体と連携した被災地支援(レジリエンス認証取得) ●店舗の省エネ化(CO₂削減)の推進(機器と運用) ●再生可能エネルギー(太陽光発電等)の活用・拡大 ●物流の効率化と環境対応トラックへの切り替えの推進(CO₂削減) ●食品ロス削減の推進(食品リサイクル等) ●レジ袋・容器包装のプラスチック使用量の削減